日本郵便と見守り事業で提携

えん道グループ

認知症早期発見のきっかけに

高齢者施設入居時の高齢者の身元保証などを行う一般社団法人えん道グループ（さいたま市）は、日本郵便と3月に「みまもり訪問サービス」の契約を締結し、高齢者に向けたサービス強化を図っている。

従来は警備会社と連携し、高齢者向けの見守りサービスを提供していた。その中で、利用者の認知症の進行度が確認しづらいことが課題となった。そこで、地域住民に向けて訪問型の見守りサービスを行っていった日本郵便と連携し、サービスの案内を開始した。

◀日本郵便との契約締結時の様子

今回の契約では、訪問は日本郵便が、法的手続きが必要な場合にはえん道グループが引き継ぐ形となっている。

「サービスを利用することで、認知症が進行していく前に、高齢者施設への入居準備や後見人の手続きなど、介護に必要な準備が早めにできることが期待される」（シルバー事業部吉成晃部長）

サービス内容は、月1回日本郵便社員が利用者宅などへ直接訪問。脳トレや健康体操などを紹介する情報誌なども提供する。

また、利用者の生活状況を家族など指定された報告先へ連絡する。日ごろの食事内容や外出頻度などについて、利用者の状況に応じた項目確認が可能。

そのほか、医療・介護、法律・税務・社会保険に関する相談について、専門スタッフが電話で回答するサービスを無料で受けられる。

利用対象者について、吉成氏は「在宅の人だけでなく、高齢者施設入居者にも勧められる」という。サービスを利用することで、スタッフが忙しい時でも利用者は日本郵便社員と会話、適度に様子を確認してもらうことができ、認知症予防としての効果が期待される。

現在、施設入居者によるサービス利用者は約20名。

今後は、利用者の入院時に遠方の家族にも対応できるよう、民間救急タクシーなどを活用しながら緊急時に対応していきたいという。

本サービスを利用する場合、えん道グループの会員であれば無料で利用できる。

トラブル解決に尽力

機器修理からコンサルまで

「事故対応コンサル」サービスとして、事業者と顧客のトラブル解決から、保険の知識を提供、設備機器の修繕に関する対応まで、幅広く事業者の相談に応じる個人事業主の岡本良二氏。事業内容や事業開始の経緯について話を聞いた。

岡本良二氏

――事業を始めた経緯は。

岡本良二　もともと保険業界に身をおいていて、保険の知識・経験があった。しかし、自身が自動車事故に遭遇した際、「保険だけでなく、事故前後のサポートも必要だ」と身をもって感じ、4年前から「事故対応コンサル」のサービス提供を開始した。現在は個人事業主として、効率的な保険の使い方を知ってもらいながら、リスク・マネジメントにも対応した事業者のためのトータルサポートを行っている。

――事業者のためのトータルサポートとは。

岡本　事業所内のエアコンの故障、鍵の修理といった機器・設備の修理から、顧客とのトラブルに関する相談・対応、コンサルなど、事業に関するあらゆるサポートを行っている。相談対応件数・コンサル件数に関係なく利用料金は月額制で1法人につき1万円。

トライアルも用意しており、その場合の報酬は「サービスが介入したことにより発生した経済効果の8%」または「月額利用の契約」となっている。

――介護事業者の利用は。

岡本　全体2割が介護関係事業者。よくある相談内容は、家族と事業者間のトラブル。利用者が事故・入院した後に発生しやすい。そういった事態が発生した後に連絡を受けることが多いが、こちらでは家族への事情説明やカウンセリングを徹底的に行う。

トラブル解決のために弁護士を呼ぶと、その事実が施設の評判にも影響しかねない。なるべく大事にせず、示談で済むように事態を納めることが目的だ。

――リスク・マネジメントの研修、コンサルとは。

岡本　介護事業所内で起きた転倒事故について、対応したケースがある。1年間に転倒が6件起きていた事業所があったが、リスク・マネジメントに関する研修を行うといった介入をしたところ、転倒件数を2年で1件に減少させることができた。

商材・サービス

チャットボットで業務支援

ニーズ分析にも活用

受託開発をメインとして事業を行い、ロボットや人工知能なども開発するエクスウェア（東京都品川区）は、問合せ対応のチャットボット「TalkQA」を提供している。

「TalkQA」は社内問い合わせやコールセンター支援、施設案内などに活用することができ、業務の効率化や新人社員への教育サポートに活かされている。また、ソフトバンクの「Pepper」やLINE@、Google Homeと連携した活用方法も提案。1対1の双方向コミュニケーションを実現化している。

「TalkQA」搭載のPepperを導入した企業では、新卒採用イベントで就職希望者の質問対応に活用したり、商業店舗に配置して顧客の満足度を計ったりといった利用の仕方がみられている。導入企業からは、いずれも「ニーズの分析に役立った」「顧客の質問に最適な回答が出せるようになった」との声があがった。

現在、聖路加国際病院と医療説明の支援を目的とした共同研究を進めている。今後も様々な業界に広げていくという。

初期費用は65万円。IBM WatosonのAIエンジンを利用する場合は月額9万円から。同社独自で開発したエンジンを使用する場合は月額3万円からの提供となっている。

葬儀の手続きスマートに

おひとり様でも安心プラン

終活関連事業を行うアライアンサーズ（東京都新宿区）は、7月末より独居高齢者や高齢夫婦向けに、気軽に葬儀を執り行えるサービス「気軽なお葬式」を開始した。

葬儀のサービス内容、料金体系は極力シンプルにした。プランは「おひとりさま葬」「老人ホーム葬」「自宅葬」の3つ。

同社の久保わたる社長が介護事業所に対し、特に推奨しているのが、「おひとりさま葬」。お迎えから遺体の安置、火葬手続き、散骨（オプションで永代供養などに変更あり）までがプラン内容となっている。オプションで遺品整理、僧呂手配なども用意されており、生前から葬儀後までアフターフォローを丁寧に行う。なお、お迎え等の実施は、本人のキーパーソンから連絡が入った後に行われる。

料金は自宅葬が25万円から、おひとりさま葬、老人ホーム葬が35万円から。

服薬支援ロボット

服薬支援サービスのご案内!!
薬局が予めセットされた薬を配達します

薬局が無料レンタルします！（施設、在宅どちらでも可）
介護スタッフの薬に関する業務負担を大幅に削減できます

ロボの役割①〈薬の飲みすぎ予防〉
誤った時間や必要以上の薬を飲むことを防止。時間の間違いや過剰摂取を予防します！

ロボの役割②〈薬の飲み忘れ予防〉
薬の時間を音声案内と画面表示でお知らせ。飲み忘れを予防し決められた時間に飲むことができます！

ロボの役割③〈薬の飲み間違い予防〉
セットした薬だけ出てきます。薬の間違いを予防し、予めセットした薬だけを飲むことができます！

※居宅療養管理指導の介護保険サービス利用が必要です。地域によってはご利用いただけない場合があります。

ケアボット株式会社
セントケア・ホールディング㈱とクラリオン㈱の合弁会社です
お問い合わせ先 東京都中央区八丁堀2-19-6ヤサカ八丁堀ビル1F TEL.03-6222-1062
https://www.saintcare-carebot.com/
ケアボット 検索

一般社団法人えん道グループ

法律の専門家が「おひとりさま」のシニアライフをお手伝い!
大宮で30年以上の実績を有する司法書士法人えん道グループが中心となり、
身元保証・見守り・成年後見・遺言・相続などを行います!
☆郵便局とも連携し、「みまもり訪問サービス」を開始!☆

えん道グループ
本部 〒331-0814 さいたま市北区東大成町1丁目489番地1 日綿堂ビル3階
大宮支店 〒331-0814 さいたま市北区東大成町1丁目626番地1 野原ビル2階
熊谷おおかの森支店 〒270-0139 千葉県流山市おおたかの森南1丁目6-8
上尾支店 〒362-0014 埼玉県上尾市本町6-12-11
品川営業所 〒108-0075 東京都港区港南1丁目9番36号 アレア品川13階

0120-940-938
【お問い合わせ時間】8:30～17:30
【HP】https://shiho.net/
ご相談無料! えん道グループ 検索